



園だより 1月号

2013年12月26日
巨理カトリック保育園

1月の予定

20日(月) 布団乾燥
※保育参観(1・2歳児)

10日(金) / 14日(火) / 16日(木)
※保育参観(3・4・5歳児)

22日(水) / 24日(金)
28日(火) / 30日(木)

クラス通信

<0歳児クラス>

“おべんとうバス”の絵本が大好きになった子ども達。絵本に出てくる野菜や果物になりきって「〇〇ちゃん!」「〇〇ちゃん!」と名前を呼ぶと「はい!!」と手を挙げて返事ができるようになりました。最近では、アンパンマンの手遊び歌も好きで、保育者の真似をして頬に手をあて、「アンパン!」「アンパンマン!」と楽しそうにしています。

食事では、手づかみやスプーンを使って、ますます自分で食べたい!という気持ちが強くなり、こぼしながらも自分で食べています。スプーンではまだ上手に持ってすくえないお子さんもあるので、手を添えてあげながら口に運んで食べられるよう関わっているところです。



<1・2歳児クラス>

すっかり寒くなり、日中上着を着て戸外へ出る日も多くなりました。遊具が寒さで冷たくなっているのを触ったり、自分の手が冷たくなっているのを頬にあて、「冷たいねー!」と言い合って楽しんでいます。

1歳児のお子さんは、クリスマスのおどいに向け「ドコノコキノコ」のダンスを喜んで踊っていました。給食にキノコが入っていると、「あっ!きのこきのこ!」とききの探しが始まっています。2歳児のお子さんは“森のおふろ”という劇で、自分で選んだ役を張り切って行おうとしていて、「ウオウホウホ!」等、生活の中でも劇のセリフを言って遊ぶ姿がありました。



<3・4・5歳児クラス>

寒さが厳しい日が増えてきましたが、子ども達は「さむいー!」と言いながらも氷鬼やひょうたん鬼、はないちもんめ等の遊びをして、寒さを忘れる程体を動かして遊んでいます。

クリスマスのおどいに向けて年少さんは、森のミュージックショーで使うおめんに自分で色を塗りました。年中さんは初めて楽器を持った時は、とても嬉しそうなお姿が見られました。年長さんは少しずつ聖歌の言葉を覚え、外では“しずけき”の歌を歌いながら遊んだりして、クリスマスのおどい当日を心待ちにしていました。

また、おやつに冬至かぼちゃが出ると、苦手なお子さんは一口だけ食べてみたり、「全部食べたよー!」とお皿を見せるお子さんもありたりと、昔ながらの冬至かぼちゃを味わっていました。



ありがとうございました!!

クリスマスのおどいに参加していただきありがとうございました。子ども達一人一人が、それぞれの役割を演じ切り、楽しそうな笑顔も見られましたね。

子ども達や、保護者の方々に貯めていただいたお金「円」をカトリック児童福祉献金に、保育園まつりの売上金「33410円」を歳末助け合いに寄付させていただきました。また、集めていただいた古切手は、日本キリスト教海外医療協力会に寄付いたしました。皆様からのご協力、誠にありがとうございました。

「ほっとメール便 児童福祉情報」でもお知らせがありましたが、12月19日に県内で感染性胃腸炎警報が発令され、注意が呼び掛けられています。

保育園でも感染性胃腸炎及び疑わしい症状(嘔吐や下痢等)のお子さんがみられてきています。保育園は、抵抗力の弱い子ども達の集団生活の場ですので、すぐに集団感染につながってしまいます。疑わしい症状のある場合は、すぐに病院を受診し、症状が消失し普段通りの食事ができるようになるまで、ご家庭で安静にされるようご協力をお願いします。食事や調理前、トイレの後など、石鹸と流水でよく手を洗い、うがいを心掛けて予防しましょう。

